

平成 20 年度

フッ化物洗口普及モデル事業

(8020 運動推進特別事業)

実施報告書

平成 21 年3月

千葉県健康福祉部

千葉県歯科医師会

目 次

フッ化物洗口普及モデル事業実施状況

千 葉 市	2
鎌 ヶ 谷 市	4
成 田 市	10
匝 瑳 市	12
山 武 市	14
大 網 白 里 町	17
茂 原 市	23
長 生 村	25
市 原 市	28
鴨 川 市	35
流 山 市	36
八 千 代 市	39

平成20年度 フッ化物洗口普及モデル事業実施報告書

【市町村名】 千葉市

【郡市歯科医師会名】 千葉市歯科医師会

2

実施施設数			
保育所数	幼稚園数	小学校数	中学校数
1	0	0	0

1. フッ化物洗口に関する前年度までの経緯

平成19年より準備を始め平成20年4月から開始をした。平成21年3歳児の洗口の準備のため。研修会（平成20年12月）と保護者説明会（平成21年3月）を開催した。（作草部保育園）

2. 推進体制づくりの経緯

実施事項	具体的な内容
園職員による説明会	園で保護者への啓発を活発に行った。

3. 施設における取り組み内容

施設 私立 作草部保育園

実施事項	具体的な内容	評価
継続事業	4歳児、5歳児のフッ化物洗口事業の継続 8020体操を継続実施している。	全員参加できた

4. 問題となったこと・今後の課題とその対応について

継続のための、費用を受益者負担としたこと（私立のため保護者の理解が得られた）。

5. 21年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無

卒園後の継続状況の調査を検討している。

6. 記録写真等



職員研修会



保護者説明会



ぶくぶく今からするよ

平成20年度 フッ化物洗口普及モデル事業実施報告書

【市町村名】 鎌ヶ谷市

【郡市歯科医師会名】

船橋歯科医師会

実施施設数			
保育所数	幼稚園数	小学校数	中学校数
4	7	1	0

4

1. フッ化物洗口に関する前年度までの経緯

H15年度：船橋歯科医師会とフッ化物洗口の推進について協議し、推進することを決定
 H16年度：関係者の共通理解を得るため、歯科医師、歯科医院スタッフ、保健、福祉、教育施設関係者を対象に「フッ化物応用推進研修会」を4回実施
 H17年度：市立（4園）・私立（1園）保育園の職員と保護者を対象に各園で研修会を実施
 H18年度：市立栗野保育園5歳児、洗口開始（6月29日）
 千葉県フッ化物洗口普及モデル事業で、私立さつま幼稚園の保護者・職員対象に研修会を実施
 第2回学校歯科研究協議会にて、学校における『フッ化物を正しく理解するための勉強会』を開催（平成19年1月11日）
 私立幼稚園協議会園長設置者会議で、「鎌ヶ谷市のフッ化物洗口支援」を説明（平成19年1月19日）
 H19年度：市立鎌ヶ谷保育園と私立さつま・ふじ・わたなべ幼稚園の洗口開始。洗口実施は、2保育園・3幼稚園となる。その他、市立道野辺・南初富保育園の保護者・職員対象に研修会を実施
 鎌ヶ谷市小中学校長会において「フッ化物洗口事業」の説明（10月4日）
 平成19年度千葉県フッ化物洗口普及モデル事業を受け、鎌ヶ谷市学校保健会として教職員・保護者対象の研修会を市立五本松小学校にて開催。懇談会も開催し、関係者との共通理解を図った（平成20年2月22日）。

2. 推進体制づくりの経緯

実施事項	具体的な内容	評価
H20年度 鎌ヶ谷市 学校保健会総会	5月15日 総会にて「モデル校（北部小学校）にてフッ化物洗口を実施する」ことが了承された。	モデル校でのフッ化物洗口の実施を決定した。
第1回鎌ヶ谷市 学校保健会学校 歯科研究協議会	8月28日 船橋歯科医師会代表（1名）、校長会代表（1名）、教頭会代表（1名）養護教諭（市内14校）、市歯科衛生士（1名）、市教育委員会職員・学校保健会事務局（2名）により学校歯科研究協議会を開催 北部小学校より、フッ化物洗口事業の進捗状況について報告。市健康増進課より、保育園・幼稚園におけるフッ化物洗口事業の進捗状況も報告	鎌ヶ谷市におけるフッ化物洗口事業について、市内小中学校の先生方に活動報告できた。

実施事項	具体的な内容	評価
第2回鎌ヶ谷市学校保健会学校歯科研究協議会	1月15日 船橋歯科医師会代表(1名)、学校歯科医(2名)、校長会代表(1名)、教頭会代表(1名) 養護教諭(市内14校)、健康増進課職員(5名)、市教育委員会・学校保健会事務局(2名)により学校歯科研究協議会を開催 北部小学校よりフッ化物洗口の様子をビデオ放映し、千葉県フッ化物洗口普及モデル事業の経過を報告	学校保健会や市・教育委員会・船橋歯科医師会のサポート体制により、フッ化物洗口事業が実施できた。関係者にビデオ放映することで、フッ化物洗口事業が理解された。
鎌ヶ谷市学校保健会役員会	3月26日 平成20年度フッ化物洗口普及モデル事業の報告を行なう。	鎌ヶ谷市学校保健会事業として、関係者に理解が得られた。

3. 施設における取り組み内容

施設 北部小学校の職員と保護者に説明会を実施・洗口実施に向けた基盤整備

実施事項	具体的な内容	評価
学校への説明	5月7日 平成20年度フッ化物洗口事業について説明、教育委員会・北部小学校・健康増進課で協議。フッ化物洗口実施にむけて、学校単独ではなく、鎌ヶ谷市学校保健会の事業として行う。鎌ヶ谷市学校保健会総会(5月15日)で、事業説明とモデル校の承諾を得るようにする。	北部地域の保育園・幼稚園では、フッ化物洗口が実施されており、保幼小の会議で小学校のフッ化物洗口が要望された。
教職員フッ化物洗口説明会	6月18日 25名参加。「フッ化物の予防効果と安全性」について日本大学松戸歯学部小林清吾教授が講演した。フッ化物洗口体験と児童のフッ化物洗口手順について、市歯科衛生士・学校歯科医・船橋歯科医師会歯科医で説明を行った。アンケート調査も実施した。	フッ化物洗口実施にむけて、船橋歯科医師会・教育委員会・健康増進課で協働実施したことで、教職員からの理解が得られた。
保護者フッ化物洗口説明会	6月30日 24名参加。「フッ化物の予防効果と安全性」について日本大学松戸歯学部小林清吾教授が講演した。フッ化物洗口体験と児童のフッ化物洗口手順について、市歯科衛生士・学校歯科医・船橋歯科医師会歯科医で説明を行った。アンケート調査を実施した。	短時間だったが、講師の話がとてもわかりやすかったので、フッ化物についてよく理解できた。洗口体験は有効だった。
アンケート調査	6月30日～7月10日 保護者説明会の欠席者にもアンケートを実施し、歯科保健に関する意識調査を実施	保護者の歯科保健とフッ化物に関する意識が把握できた。
フッ化物洗口希望調査の実施	9月下旬、アンケート調査結果の配布と、フッ化物洗口希望調査を実施	全保護者にフッ化物洗口を周知できた。
フッ化物洗口事前指導	10月1日 5・6年の保健委員8名に、養護教諭と市歯科衛生士で、保健委員の役割と洗口指導の実施 10月上旬養護教諭は、担任と児童にフッ化物洗口についての説明と水うがい指導の実施 10月2日・9日 各担任は朝、児童の出席確認後クラスにて水うがいの実施	フッ化物洗口用物品は市歯科衛生士が用意。各担任により、水うがいの実施。北部小養護教諭・市歯科衛生士が見守った。

実施事項	具体的な内容	評価
フッ化物洗口開始	10月16日 フッ化物洗口開始にあたり、学校歯科医より挨拶。また、各クラス担任より絵本「おしえてフッソマン フッソってなあに？」を児童に読み聞かせ、永久歯のむし歯予防ためにフッ化物洗口で丈夫な歯をつくることを教育した。洗口開始の諸注意を読み上げ、各クラス担任の合図でフッ化物洗口を開始した。絵本の活用は読書推進指定校であったことから、児童に快く受け入れられた。	フッ化物洗口開始日と秋の定期歯科健康相談が同日だった。洗口開始には北部小養護教諭・教育委員会・市歯科衛生士3名も同席し、洗口状況を確認した。
フッ化物洗口指導	毎週木曜日朝、1年～6年の各クラスにてフッ化物洗口の実施。2学期中は北部小学校養護教諭・市歯科衛生士が各クラスを回り、児童のフッ化物洗口を見守った。11月20日 新聞社の取材を受けた。12月18日 入学前説明会資料として、洗口の様子をビデオに収めた。	フッ化物洗口開始までに、保健指導の時間が少なかったことや味で、うがいに馴染めない児童が見られ、養護教諭と市歯科衛生士が指導にあたった。
フッ化物洗口	毎週木曜日朝、各クラス担任の合図で、フッ化物洗口の実施	養護教諭が見守り実施。
入学前説明会	2月3日 保護者57名参加。「永久歯のむし歯予防ためにフッ化物洗口で丈夫な歯をつくる」こと教育。市歯科衛生士2名で、フッ化物洗口体験と洗口手順(ビデオ放映)を説明。歯科保健アンケート調査を実施した。	校長が教育方針(フッ化物洗口含む)を説明
アンケート調査	2月下旬 フッ化物洗口アンケートを実施。3月に結果を保護者に報告する。	歯科保健とフッ化物洗口に関する意識を把握できた。

4. 問題となったこと・今後の課題とその対応について

1. 千葉県フッ化物洗口普及モデル事業による継続的な支援が必要である。拡充のためには、将来の保障がなければ実施できないと学校関係者より強く要望された。
2. 実施施設でフッ化物洗口をするためには、薬物購入のための経費が必要である。経費の捻出については、学校関係者と議論となった。
3. 実施施設の施設長や担当者の負担が重くなると、継続できない。市や歯科医師会・教育委員会がサポートすることで、洗口が実現できる。また、フッ化物洗口の責任は誰がとるのか、はっきりさせる必要がある。そこで、県や県歯科医師会が事業の支援をしていることを周知・徹底したことで、住民の理解が得られた。
4. フッ化物洗口事業を継続する上で、県・市・教育委員会・歯科医師会・大学などの継続的な後方支援が必要である。実施する以上、何十年単位での実施を要望したい。今後、千葉県フッ化物洗口普及モデル事業のような委託事業でなく、県や県歯科医師会の本事業としての実施を要望したい。
5. フッ化物洗口ガイドラインを3歳児健診時来所保護者に周知し、フッ化物洗口を4歳児の時点で周知し、5歳児導入を開始したことで、保幼小の教職員の理解が得られ、保育園・幼稚園・小学校の実施につながった。
6. 薬剤の価格・購入・薬品管理など、薬剤師の役割について学校関係者と議論となった。今後、薬剤師の役割について、明確にする必要がある。そこで、県のフッ化物洗口普及モデル事業概要に沿った、県・歯科医師会・薬剤師会との連携強化が望まれる。

5. 21年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無

H21年度も学校におけるフッ化物洗口普及活動を継続予定。また、鎌ヶ谷市学校保健会として、モデル校でのフッ化物洗口事業を計画。H21年度の事業予算はない。

6. 記録写真等

北部小学校「教職員・保護者フッ化物洗口説明会」の様子



写真1 学校保健会副会長・船橋歯科医師会より



写真2 教職員説明会(学校長より)



写真3 小林教授による講話



写真4 教職員説明会の様子



写真5 保護者説明会(教育委員会より)



写真6 保護者説明会(船橋歯科医師会より)

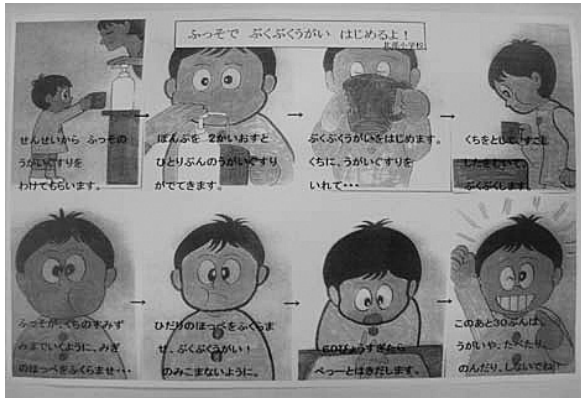


写真7 フッ化物洗口資料



写真8 保護者説明会(学校歯科医より)

北部小学校「フッ化物洗口開始」の様子



写真9 学校歯科医より



写真10 養護教諭・絵本で説明



写真11 フッ化物洗口の様子



写真12 フッ化物洗口手順



写真13 北部小ほげんだより



写真14 フッ化物洗口用具



写真15 新聞に掲載(船橋よみうり)



写真16 保護者説明会の様子